【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-165706(P2004-165706A)
【公開日】平成16年6月10日(2004.6.10)
【年通号数】公開・登録公報2004-022
【出願番号】特願2002-299461(P2002-299461)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　5/92
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｈ０４Ｎ　5/262
　Ｈ０４Ｎ　5/44
　Ｈ０４Ｎ　5/765
　Ｈ０４Ｎ　5/85
　Ｈ０４Ｎ　5/907
　Ｈ０４Ｎ　5/928
　Ｈ０４Ｎ　7/08
　Ｈ０４Ｎ　7/081
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｈ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　３０１Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　5/262
　Ｈ０４Ｎ　5/44　Ａ
　Ｈ０４Ｎ　5/85　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　5/907　Ｂ
　Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｌ
　Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｅ
　Ｈ０４Ｎ　7/08　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月13日(2005.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　動画像を受信する受信部と、受信した前記動画像を符号化して符号化データを生成する符号化部と、前記符号化データを生成するための符号化パラメータを設定するパラメータ設定部と、該パラメータ設定部により設定された前記符号化パラメータに基づいて、前記符号化部により符号化された前記符号化データを蓄積する蓄積部と、該蓄積部に蓄積された前記符号化データを復号する復号部とからなる動画像符号化・復号装置であって、前記蓄積部が、前記符号化データを蓄積可能でかつ着脱可能な記録媒体を装着する構成からなり、前記パラメータ設定部が、複数個の前記符号化パラメータを備えている構成からなり、前記蓄積部に装着されて蓄積された前記記録媒体の前記符号化データを、当該動画像符号化・復号装置の前記復号部にて復号させて再生することができるように、及び／又は、前記蓄積部に装着されて前記符号化データが蓄積された前記記録媒体を前記蓄積部から離脱させて、当該動画像符号化・復号装置とは異なる外部の動画像復号装置に装着して、前

記外部の動画像復号装置にて前記記録媒体に蓄積されている前記符号化データを復号させて再生することができるように、前記パラメータ設定部により前記符号化部に設定されるべき符号化パラメータを複数個の前記符号化パラメータの中から選択して指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項２】

請求項１に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化パラメータに関する情報が前記記録媒体に当該符号化データと共に蓄積されていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項３】

請求項１又は２に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化部に設定すべき前記符号化パラメータを選択して指定するためのモード設定画面を画面表示することにより、ユーザが、任意に選択して指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項４】

請求項１乃至３のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、前記記録媒体が、半導体メモリカード及び／又はリムーバブルハードディスクからなっていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項５】

請求項１乃至４のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化部が、前記動画像に含まれている画像データを符号化する画像符号化部と、前記動画像に含まれている音声データを符号化する音声符号化部と、前記画像符号化部及び前記音声符号化部のそれぞれにて符号化された各符号化データを多重化して多重符号化データを生成する多重化部とを備え、前記パラメータ設定部が、前記符号化部に設定するための前記符号化パラメータとして、前記画像符号化部に設定される画像用符号化パラメータと前記音声符号化部に設定される音声用符号化パラメータとをそれぞれ独立に備えていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項６】

請求項５に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記パラメータ設定部が、前記符号化部に設定すべき前記符号化パラメータを選択して指定する際に、前記画像用符号化パラメータと前記音声用符号化パラメータとをそれぞれ独立に選択指定すること、及び／又は、前記画像用符号化パラメータと前記音声用符号化パラメータとが予め組み合わされている複数の組み合わせの中からいずれかの前記画像用符号化パラメータと前記音声用符号化パラメータとの組み合わせを選択指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項７】

請求項５又は６に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化パラメータのそれぞれを構成する前記画像用符号化パラメータとして、画像データに関する符号化方式、画像サイズ、フレームレート、ビットレートの少なくともいずれか一つを含み、前記符号化パラメータを構成する前記音声用符号化パラメータとして、音声データに関する符号化方式、チャンネル数、サンプリングレート、ビットレートの少なくともいずれか一つを含んでいることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項８】

動画像を受信する受信部と、受信した前記動画像を符号化して符号化データを生成する符号化部と、前記符号化データを生成するための符号化パラメータを設定するパラメータ設定部と、該パラメータ設定部により設定された前記符号化パラメータに基づいて、前記符号化部により符号化された前記符号化データを蓄積する蓄積部と、該蓄積部に蓄積された前記符号化データを復号する復号部とからなる動画像符号化・復号装置であって、前記復号部により復号された動画像の表示画像サイズを変更することができる画像サイズ変更部を備え、該画像サイズ変更部が、復号された動画像の前記表示画像サイズの変更を指示するサイズ変更信号に基づいて、画面表示する動画像の表示画像サイズを変更することを

特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項９】
請求項８に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記サイズ変更信号をユーザが任意に指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１０】
請求項８又は９に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記画像サイズ変更部において動画像の前記表示画像サイズを拡大又は縮小するための変更倍率を複数個備え、前記サイズ変更信号によりいずれかの前記変更倍率を選択して指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１１】
請求項８又は９に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記画像サイズ変更部において動画像の前記表示画像サイズを拡大又は縮小するための変更倍率を複数個備え、前記サイズ変更信号が入力される都度、前記変更倍率が予め定められた順序に従って巡回的に変更されて指定されていくことを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１２】
請求項８乃至１１のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、過去に画面表示した動画像の表示画像サイズの変更倍率を設定済み倍率として前記画像サイズ変更部に記憶し、前記復号部により復号された動画像を新たに画面表示する際に、前記設定済み倍率に基づいて、前記画像サイズ変更部により動画像の表示画像サイズを変更して新たに画面表示させることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１３】
請求項８乃至１１のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、動画像を最初に画面表示する際の表示画像サイズの変更倍率として、予め定められた所定の変更倍率である初期設定倍率を前記画像サイズ変更部に備え、前記復号部により復号された動画像を新たに画面表示する際に、過去に表示した動画像の表示画像サイズの変更倍率の如何に関わらず、前記初期設定倍率に基づいて、前記画像サイズ変更部により動画像の表示画像サイズを変更して新たに画面表示させることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１４】
請求項８乃至１１のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、動画像を最初に画面表示する際の表示画像サイズとして、予め定められた所定の表示画像サイズである初期設定画像サイズを前記画像サイズ変更部に備え、前記復号部により復号された動画像を新たに画面表示する際に、過去に表示した動画像の表示画像サイズの如何に関わらず、前記初期設定画像サイズに基づいて、前記画像サイズ変更部により動画像の表示画像サイズを変更して新たに画面表示させることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１５】
請求項８乃至１４のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、前記復号部により復号された動画像を画面表示する際に、前記画像サイズ変更部により変更された動画像の画面表示サイズの変更倍率及び／又は画面表示された動画像の該画像表示サイズを画面表示することを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１６】
請求項１乃至７のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置において、前記復号部により再生可能とする動画像の最大画像サイズ及び／又は最大フレームレートを含む再生能力を設定することができる再生能力設定部を備え、該再生能力設定部が、再生能力の設定を指示する再生能力指示信号に基づいて、動画像の再生能力を設定することを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１７】
請求項１６に記載の動画像符号化・復号装置において、前記再生能力指示信号をユーザが任意に指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。
【請求項１８】
動画像を受信する受信部と、受信した前記動画像を符号化して符号化データを生成する

符号化部と、前記符号化データを生成するための符号化パラメータを設定するパラメータ設定部と、該パラメータ設定部により設定された前記符号化パラメータに基づいて、前記符号化部により符号化された前記符号化データを蓄積する蓄積部と、該蓄積部に蓄積された前記符号化データを復号する復号部とからなる動画像符号化・復号装置であって、前記蓄積部が、前記符号化データを蓄積可能でかつ着脱可能なカード型リムーバブルメディアからなる記録媒体を装着する構成からなり、前記パラメータ設定部が、複数個の前記符号化パラメータを備えている構成からなり、前記カード型リムーバブルメディアからなる記録媒体に蓄積する前記符号化データを符号化する際に適用すべき符号化パラメータを複数個の前記符号化パラメータの中から選択することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項１９】

請求項１８に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記カード型リムーバブルメディアからなる記録媒体に蓄積された前記符号化データを復号させて再生することができるように、前記符号化パラメータに関する情報が前記カード型リムーバブルメディアからなる記録媒体に当該符号化データと共に蓄積されていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項２０】

請求項１８又は１９に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化部に設定すべき前記符号化パラメータを選択して指定するためのモード設定画面を画面表示することにより、ユーザが、任意に選択して指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項２１】

請求項１８乃至２０のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、前記カード型リムーバブルメディアが、コンパクトフラッシュ（登録商標）カード、スマートメディアカード、マルチメディアカード、メモリスティックカード、ＳＤカード、又は、ＰＣカードを含むいずれかの半導体メモリカードからなっていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項２２】

請求項１乃至２１のいずれかに記載の動画像符号化・復号装置であって、動画像を受信する前記受信部が、テレビ放送を受信して動画像を生成するテレビ受信部からなっていることを特徴とする動画像符号化・復号装置。

【請求項２３】

動画像を符号化して符号化データを生成する際に用いられる符号化パラメータを複数個備え、複数個の該符号化パラメータの中から選択されたいずれかの符号化パラメータにより符号化された符号化データを着脱可能な記録媒体に蓄積することができる動画像符号化・復号方法において、前記符号化パラメータを選択する際に、着脱可能な前記記録媒体を装着して、該記録媒体に蓄積された前記符号化データを復号再生させる動画像復号装置の復号方式に対応する符号化方式が含まれている符号化パラメータをユーザが選択して指定することができることを特徴とする動画像符号化・復号方法。

【請求項２４】

請求項２３に記載の動画像符号化・復号方法であって、復号された動画像を画面表示する際の表示画像サイズを変更するための変更倍率を複数個備え、ユーザが複数個の前記変更倍率の中から選択して指定した変更倍率に基づいて動画像の表示画像サイズを変更して画面表示するか、あるいは、ユーザがサイズ変更の指示をする都度、予め定められた順序に従って巡回的に複数個の前記変更倍率が切り替えられて動画像の表示画像サイズを変更して画面表示することができることを特徴とする動画像符号化・復号方法。

【請求項２５】

請求項２３又は２４に記載の動画像符号化・復号方法であって、動画像を最初に画面表示する際に、過去に画面表示した動画像の表示画像サイズの変更倍率、又は、予め定められた所定の変更倍率である初期設定倍率、又は、予め定められた所定の表示画像サイズで

ある初期設定画像サイズのいずれかに基づいて、動画像の表示画像サイズを変更して新たに画面表示させることを特徴とする動画像符号化・復号方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
第２の技術手段は、前記第１の技術手段に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記符号化パラメータに関する情報が前記記録媒体に当該符号化データと共に蓄積されている動画像符号化・復号装置とすることを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
第８の技術手段は、動画像を受信する受信部と、受信した前記動画像を符号化して符号化データを生成する符号化部と、前記符号化データを生成するための符号化パラメータを設定するパラメータ設定部と、該パラメータ設定部により設定された前記符号化パラメータに基づいて、前記符号化部により符号化された前記符号化データを蓄積する蓄積部と、該蓄積部に蓄積された前記符号化データを復号する復号部とからなる動画像符号化・復号装置であって、前記復号部により復号された動画像の表示画像サイズを変更することができる画像サイズ変更部を備え、該画像サイズ変更部が、復号された動画像の前記表示画像サイズの変更を指示するサイズ変更信号に基づいて、画面表示する動画像の表示画像サイズを変更する動画像符号化・復号装置とすることを特徴とするものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
第１９の技術手段は、前記第１８の技術手段に記載の動画像符号化・復号装置であって、前記カード型リムーバブルメディアからなる記録媒体に蓄積された前記符号化データを復号させて再生することができるように、前記符号化パラメータに関する情報が前記カード型リムーバブルメディアからなる記録媒体に当該符号化データと共に蓄積されている動画像符号化・復号装置とすることを特徴とするものである。